

低コストで効率的な施業の推進に向けて

地域事情を踏まえた搬出間伐・列状間伐の普及

十勝西部森林管理署

1 はじめに

十勝西部森林管理署は、十勝平野から望む日高山脈とその山裾に広がる約14万ヘクタールの国有林野を管理経営し、十勝管内の8つの市町村（帯広市、清水町、芽室町、音更町、大樹町、広尾町、中札内村、更別村）に所在しています。

十勝管内の人工林資源は、充実・利用期を迎え、伐採量のほとんどを人工林が占めています。特に一般民有林はカラマツ人工林が多く一大産地として知られています。

2 地域の課題とこれまでの取組

このような中、一般民有林では、資源の有効利用につながらない切捨て間伐のウエイトも高く、効率的で安全性の高い列状間伐の取組・定着が必要となっています。

昨年度は一般民有林での列状間伐普及に向け、道有林と国有林の列状間伐実行箇所での現地検討会を実施しました。搬出間伐と列状間伐を推奨し実践する指導林家から、作業現場でメリットを具

体的に説明したところ、市町村林務担当者、森林組合職員、森林所有者等は高い関心を示し意識の醸成を図ることができました。



昨年度実施した現地検討会
(列状間伐実施箇所)

3 今年度の取組予定

効率的な列状間伐と搬出間伐の取組は市町村によって状況が異なります。このため、各市町村に出向いて担当者との情報交換を行う中で個々の状況を踏まえ、課題・問題点を把握し指導・助言に努めています。

また、国有林の工程管理システム・生産性向上ガイドブックを民有林に情報提供し現地検討会等で活用するなど準備を進めています。

4 今後の取組で目指すこと

一般民有林の多くで高性能林業機械と路網を組み合わせた効率的な作業システムが当たり前に採用されるよう、市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議及び十勝林政連絡会議等の場を通じて情報提供し、列状間伐が効率的で安全性が高いことを理解してもらうよう情報発信を継続していく必要があります。



十勝林政連絡会議

また、市町村林務担当者との顔の見える関係を構築し、国有林に対し気軽に相談できる関係づくりを進め担当者の森林・林業の知識が深まり自信が持てるよう

取り組んでいきたいと考えています。

今後の目標として、列状間伐の優位性について理解を深め、低コスト施業と列状間伐の拡大を図り、全市町村で列状間伐が導入され、3年後には一般民有林間伐面積の2～3割程度の実施を目指したいと思います。

5 おわりに

十勝管内は一般民有林の造林未済地の解消も課題です。また、市町村は新たな森林経営管理制度の導入で役割が重要になります。当署としても「治山・業務・森林事務所グループ会議」を署内に設けて、市町村の方々と一緒に地域課題の解決に向け取り組んで参ります。



治山・業務・森林事務所
グループ会議